

(237 頁よりつづく)

ii) 均質度。屈折率の変動が 10^{-6} 程度の高い均質度になると、均質度は残留歪による影響を受ける。このために残留歪が $5 \mu\text{m/cm}$ 以下になるように、ガラスブロックは精密に徐冷されている。光学ガラスの均質度は干渉計により測定される。これには従来マイケルソン型またはこれに類似した型の干渉計が用いられてきたが、最近ではレーザーを光源に用いることにより可干渉距離が著しく長くなったので、高精度光学ガラスの均質度測定には、第5図に示した主鏡 (C_2) の直径が 40 cm のウィリアムズ型干渉計が用いられている。第6図は高精度光学ガラスブロックの干渉像の一例を示したものであり、このガラスブロックの均質度は干渉縞の変位から求められる。第7図は第6図の干渉像から求めた干渉縞のふれであり、第8図はこの結果から計算された屈折率の分布を示したもので、屈折率の変動は 3×10^{-6} 以内である。一般には、高精度光学ガラスブロック内での屈折率の変動は $\pm 2 \times 10^{-6}$ 以内である。

学会だより

大塚奨学金希望者募集 昭和 45 年度の大塚奨学金を希望される方は 9 月末日までに下記事項記載の上“三鷹市大沢東京天文台構内日本天文学会理事長”宛お申し込み下さい。昨年度は該当者がありませんでしたので 2 名募集致します。(1) 氏名, 生年月日, 年齢, 性別, (2) 現住所, (3) 学歴, (4) 職業, (5) 研究題目, (6) 内地留学をしたいと思う研究機関, (7) 留学を希望する期間と日程, (8) 奨学金としての希望額, (9) これまでの主な研究歴, なお詳細は大塚奨学金内規を御参照下さい。

東京天文台公開

恒例の東京天文台公開 (本会後援) は来る 10 月 13 日

(火)午後 3 時から午後 8 時まで行なわれることになりました。65 cm 赤道儀, 写真天頂筒, 子午環, 単色太陽写真儀, 電波望遠鏡等が公開されるほか, 各種参考資料の展示, 映画, 天体観望 (夕方から) も行なわれる予定です。なお雨天の際は中止されます。

昭和 45 年度科学技術賞ならびに研究助成候補者推薦について

東レ科学振興会から標記の件について理事長宛に推薦依頼が参っております。本学会としては該当者を広く求めておりますので、適当な方法で自薦もしくは、他薦を理事長宛御連絡下さい。所定の用紙は庶務理事のところにあります。

I 科学技術賞

候補者の対象; 学術上の業績が顕著なもの, 学術上重要な発見をしたもの, 重要な発明をして, その効果が大きいもの, 技術上重要な問題を解決して技術界に貢献するところが大きいもの。

科学技術賞; 1 件につき本賞: 金メダル, 副賞: 250 万円。

候補者推薦件数; 1 学(協)会から 2 件以内。

II 研究助成

候補者の対象; 科学技術の基礎的な研究に従事し, その研究の成果が科学技術の進歩, 発展に貢献するところが大きいと考えられる研究を行なっている研究者, またはそのグループ。

研究助成金; 1 件 1,000 万円程度。ただし, たとえば数百万円の装置を整えることにより重要な研究のあい路が取除かれるような場合には, この額にとらわれる必要はありません。

候補者推薦件数; 1 学(協)会から 3 件以内。

東レ科学振興会の選考委員会にて選考し, 科学技術賞・研究助成金の贈呈は昭和 46 年 3 月の予定です。学会としての締切りは 10 月末日。

1970 年 7 月の太陽黒点 (g, f) (東京天文台)

1	—, —	6	—, —	11	—, —	16	—, —	21	10, 68	26	10, 133
2	—, —	7	—, —	12	5, 35	17	—, —	22	—, —	27	12, 156
3	10, 107	8	—, —	13	—, —	18	6, 26	23	10, 77	28	13, 154
4	—, —	9	—, —	14	—, —	19	11, 60	24	9, 88	29	14, 117
5	—, —	10	7, 36	15	5, 25	20	7, 56	25	10, 140	30	—, —
(相対数月平均値: 129.6)										31	11, 102

昭和 45 年 8 月 20 日

印刷発行

定価 125 円

編集兼発行人 東京都三鷹市東京天文台内

印刷所 東京都文京区水道 2-7-5

発行所 東京都三鷹市東京天文台内

電話武蔵野 32局 (0422-32) 1359

森本雅樹

啓文堂 松本印刷

社団法人 日本天文学会

振替口座東京 13595